



平成 29 年度日本薬学会東北支部主催

第 16 回生物化学若手研究者セミナー

「遺伝子改変動物を用いて精神・神経疾患発症の 謎を探る」

日時 2017 年 7 月 29 日(土)13:00～16:15

会場 東北大学大学院薬学研究科 大講義室

オーガナイザー: 福永浩司、矢吹 悌 (東北大学大学院薬学研究科 薬理学分野)

開会の挨拶: 矢吹 悌

座長: 顧 建国 (東北医科薬科大学 分子生体膜研究所 細胞制御学教室)

13:00～13:30 宇田川 剛(東北大学 大学院薬学研究科 遺伝子制御薬学分野)

「RNA 代謝・翻訳異常に起因する精神神経疾患の発症機構解明を目指して」

13:30～14:00 矢吹 悌(東北大学 大学院薬学研究科 薬理学分野)

「FABP3 欠損マウスの精神行動障害とドパミン受容体との関わり」

14:00～14:30 中川西 修(東北医科薬科大学 薬学部 薬理学教室)

「神経発達障害仮説に基づいた統合失調症モデル動物作製の試み」

14:30～14:50 休憩

座長: 福永 浩司(東北大学大学院薬学研究科 薬理学分野)

14:50～15:20 福田 友彦(東北医科薬科大学 分子生体膜研究所 細胞制御学分野)

「脳における α 1,6 フコース転移酵素 Fut8 の機能とその役割」

特別講演

15:20～16:10 古本 祥三

(東北大学サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター 核薬学研究部)

「PET による脳分子イメージング:プローブ開発と医薬研究への応用」

16:10～16:15 閉会の挨拶 福永 浩司

16:20～18:00 若手セミナー交流会

参加申込不要・参加費無料

主催 日本薬学会東北支部 (<http://shibu.pharm.or.jp/tohoku/>)

問合せ先 〒980-8578 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3

東北大学大学院薬学研究科 薬理学分野 福永 浩司

Tel: 022-795-6836 E-mail: kfukunaga@m.tohoku.ac.jp